



檜原学園  
Hinohara Gakuen

# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



7月号

令和3年度

7月1日(木)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## 虫取り

校長 乙津 秀敏

もうすぐ夏休みに入ります。昨年度は新型コロナウイルス感染症による休業を受けて期間短縮をした夏休みですが、今年度は約40日と長いお休みとなります。病気や怪我、交通事故等に十分気を付け、子供たちが豊かな時間を過ごすことを願っています。この夏も新型コロナウイルス感染症の影響により以前のような過ごし方ができない面も多々あるかとは思いますが、子供たちにとってはかけがえのない一夏ですので、ご家族のサポートをお願いいたします。

ここで自分自身の子供時代の夏休みを振り返ってみようと思います。皆さんもぜひ振り返ってみてください。私の場合まず思い出すのは虫取りです。虫取り網や籠を持って家の周りの野原や山を毎日駆け回りました。私がよく捕まえたのは、蝉、バッタ、トンボ、蝶、カミキリムシ、クワガタ、カブトムシ等でした。中でも好んで捕まえたのは、クワガタとカブトムシでした。近所の友人と朝早くまだ暗いうちに採取に出かけたこともありました。特別にテーマパークや海に出かけたわけではありませんが、とても楽しかったものです。

教員になってから、理科の研修の一貫で「虫取り」が子供に与える影響について話を聞いたことがあります。確か次のような項目が挙げられていたように思います。

- ・生き物の不思議を味わわせてくれる。
- ・知的好奇心をかきたてる。
- ・試行錯誤する力を育てる。
- ・暑さに負けない体力を育ててくれる。
- ・命の大切さを教える。

当の本人である私は当時このようなことを思いながらやっていたわけではないのですが、今振り返ると納得する部分が多いです。何とか捕まえようと様々な工夫をしましたし、また飼育してみても初めて分かることも多かったです。

私は虫取りでしたが、人によっては違う興味をもつ人もいます。例えば私は小学生の頃、夏休み中に天文について豊富な知識をもっていた方と出会いました。学校で教える内容を遙かに超えた知識をもち、星や星座のこと等を教えてくれました。私が今もっている天文に関する知識は学校の授業ではなく、この方から得たものです。その後中学、高校に至るまで、天文関係の授業で苦労したことはありませんでした。当時の出会いに感謝しています。この方は大人でしたが、天文のことに興味を持ち始めたのはやはり小学生の夏休みだったと語っていました。

さて、時代は移り、今はソサイエティ5.0の時代について様々な場所でアナウンスがされています。AIによる交通機関や車の自動運転、ドローンの日常生活への活用、ネットを駆使した便利な生活等、夢のような生活がもうすぐ来ると言われています。このまま行くと10年後の子供たちの夏休みは様変わりしているかも知れません。よくこれからの時代は「予測困難な時代」と言われていますが、子供たちの夏休みも予測困難かも知れません。ただ、どんなにテクノロジーが進歩しても、そして時代が変化しても大切にしてほしいことがあります。それは「実体験」です。虫にしても星や星座、植物等にしても今やネット上に情報が溢れるほど存在しています。それらをチェックすれば何となく一通りの知識は得られます。ただし、そこから先の新たな発見は得にくいものです。これから先の新しい時代を生き抜くためにも子供たちには、新たに発見したり、更に追求したりする力を育てていってほしいと願っています。それには発展的な思考の土台となるリアルな世界における実体験が必須だと思います。ここを現在本校では特に重視し、「体験のシャワー」として子供たちに味わってもらっています。そして、自分の興味関心を高めるために時間を自由に組み立てられる夏休みを有効活用してほしいと思っています。予測困難な新たな時代においても子供たちの夏休みについては、この部分は変わらないでいてほしいものです。ともあれ、まずはこの一夏を健康に、そして有意義に過ごしてほしいです。



## 7月の生活目標

毎月、最初の全校朝会で、今月の生活目標の話をしていきます。4月、5月、6月と毎月の目標をどれくらい達成できているか尋ねると「元気に挨拶」はほぼ全員が達成できたと手を挙げてくれる反面、「ていねいな言葉づかい」は半分くらいかな……という様子です。毎月の生活目標をしっかりと確認して、それを確実に子供たちが覚えていってくれればと思っています。

さて、7月の生活目標は「ものを大事にしよう。」です。ものを大事にするとは、自分のものを丁寧に扱う事、しっかり管理する事だけでなく、他人や公共のものも丁寧に扱ったり、使った後は元の場所に戻したりすることも含まれます。自分の物も他人の物も大事にするよう学校では声をかけていきます。

生活指導部 山田 剛史

## 保護者会のお知らせ

先日、お知らせにて配布したとおり、保護者会を開催いたします。ご多用のことと存じますが、以下の日程で出席していただきますようご案内申し上げます。

- 日時 7月 5日(月) 4・5・6年生  
7月 9日(金) 1・2・3年生  
授業参観 13時35分～  
学級懇談会 14時40分～  
7月9日(金) eライブラリ講習会 15:10～  
(1年生及び、学年問わずご希望の方) ホールにてここで、バージョンアップしたので、ぜひご参加ください。
- 場所 各教室
- 内容 (1) 1学期を振り返って  
(2) 学年の通知票(あゆみ)について  
(3) 夏休みの生活と学習  
(4) その他  
※5・6年生につきましては、宿泊教室の見通しについての話もさせていただきます。
- その他  
○ 駐車場は、村営グラウンドをご利用ください。  
○ 来校証、うわばきをご持参ください。

## 檜小まつり

6月26日(土)に檜小祭りを行いました。今年度は、SDGsへの意識をもち、ごみを出さない工夫をしながら全児童が楽しめるようにと6年生を中心に計画し、行いました。当日は、全児童が楽しむとともに、運営する高学年の頼もしい姿が見られました。



特別活動部  
河野 香織

## 体力等調査

6月15日(火)に体力等調査を行いました。子供たちは、ソフトボール投げや立ち幅跳び、反復横跳びなどに、一生懸命取り組んでいました。

本取組をきっかけに、これからも児童の体力が高められるように進めていきたいと思えます。

体力等調査結果については、学校に届き次第、返却いたします。ご家庭における体力向上への取組に生かしていただけたらと考えています。



体育部 山田 剛史

## 研究の取組紹介

### 研究主題

「算数科における確かな学力を育成する指導の工夫」  
～自ら考え、表現する活動を通して～

今年度、檜原小学校では、算数科において自分の考えを適切に表現し伝え合う活動を通して、学びを深め、確かな学力を育成することができるよう研究を進めていきます。

算数の授業では、子供たちが「なぜ?」「どうして?」と、考えたくなるような問題を提示したり、自分の考えを適切に表現できるように意図的な対話を取り入れたりしながら、特に思考力・判断力・表現力等を伸ばしていきたいと考えています。2学期には、研究授業等で子供たちの様子についてお伝えいたします。

研究部 工藤 由里子

## 夏季水泳教室中止のお知らせ

例年本校では、7月下旬に夏季水泳教室を行っていましたが(昨年度は中止)。しかし、今年度、新型コロナウイルス感染症予防の観点

(①夏季は、観光客の増加が見込まれ、通学中の他者との接触が増えること。②学期中のプールより、人数が増え、実施が難しいこと。③東京都の通知により、最低限の水泳回数とすること)及び熱中症予防の観点から、中止とさせていただきます。

ご理解の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。